

〈プライベート〉

おめでとう国指定! 妙見祭は市民の宝

会期：10月7日(金)～23日(日)

妙見祭の国指定を祝って

八代市民の妙見祭にちなんだ作品を展示します。

休館日：11日(火)・17日(月) ※最終日の23日は16時まで

「プライベートのみの見学は無料」

協力団体：八代市立博物館友の会、秀岳館高等学校

八代白百合学園高等学校、崇城大学

八代絵だよりの会、イグサ手まりの会

●入館料／一般600円(480円) 高大生400円(320円) 中学生以下無料
 ※()内は20名以上の団体料金 ※文化の日(11月3日)は無料開放
 ●開館時間／9時～17時(入館は16時30分まで)
 ●休館日／毎週月曜日、11月4日(金)、24日(木)
 ●主 催／八代市立博物館未来の森ミュージアム、熊本日日新聞社
 ●特別講演会／博物館講義室にて 14時～15時30分 ※聴講無料
 10月29日(土) 「国指定文化財としての八代妙見祭」講師 早瀬輝美(本館学芸員)
 11月5日(土) 「八代妙見祭の風流の特色」講師 福原敏男氏(武蔵大学教授)



平成23年度秋季特別展覧会 重要無形民俗文化財国指定記念 八代の歴史と文化21

大妙見祭展

～華ひらく祭礼風流～

平成23年

10月28日(金)～12月4日(日) 八代市立博物館未来の森ミュージアム

ふりゅう

風流とは、豪華さや大きさ、目新しさなどで人々を驚かす趣向のことです。豪華さという点では、贅の限りを尽くした動く美術館といわれる京都祇園祭の山鉾が祭礼風流の代表格といえます。

八代妙見祭は、「妙見祭の神幸行事」として国の重要無形民俗文化財に指定されましたが、その大きな特徴は多彩で華麗な祭礼風流の数々にあります。長崎の影響を受けた獅子舞、江戸で習い覚えた奴振り、独特の外観を持つ笠鉾、妙見伝説にちなんだ亀蛇など様々な風流は、球磨川河口の重要な港町であった八代の繁栄を物語っており、近隣の祭礼に大きな影響を与えています。

祭礼行列の中で華ひらいた風流の数々から、当時の人々の美意識や祭りにかける思いを感じ取っていただければ幸いです。



タイ

華ひらく 祭礼風流



「祇園祭礼図絵巻」江戸時代初期 福岡市博物館蔵



「博多松離子の傘鉾」
昭和53年
櫛田神社蔵



「本籠町傘鉾垂(部分)」
文化年間(1804~18)
長崎歴史文化博物館蔵

よろずやまち
万屋町傘鉾垂の刺繍
(タイ・マツカサウオ・イトヨリダイ)
文政10年(1827)万屋通り町会蔵
長崎市指定文化財



イトヨリダイ

「諏訪神事御供町道行之図(部分)」
享保年間(1716~36)頃の景観年代
長崎歴史文化博物館蔵

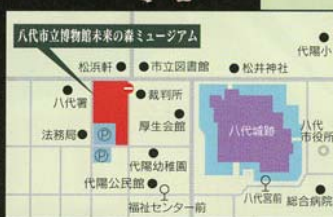


マツカサウオ



[交通のご案内]

- JR** 鹿児島本線・肥薩おれんじ鉄道八代駅下車3km
九州新幹線新八代駅下車6km
- バス** 八代駅・新八代駅西口から「検察庁・法務局・市博物館前」
「北荒神町福祉センター前」「八代市役所前」いずれかのバス停下車
- 車** 八代ICから八代港線に入り、田中西町交差点を左折(南下)
松浜軒前交差点を右折すく ※大型バス4台、普通車40台駐車可



八代市立博物館未来の森ミュージアム

〒866-0863 熊本県八代市西松江城町12-35 TEL0965-34-5555・FAX0965-33-9200
博物館ホームページ <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/musenm>